

(15) 平城宮跡歴史公園の整備

ここまで良くなってきました

朱雀門ひろばに続いて、第一次大極殿院大極門(南門)が令和4年3月に完成しました。朱雀大路東側及び平城宮跡南側においては朱雀門ひろばと一体感のある公園整備を進めています。

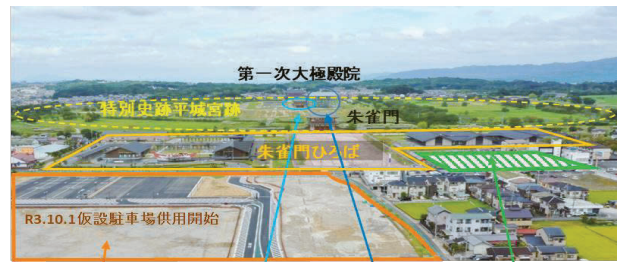
朱雀大路東側「歴史体験学習館」

OR2年12月に整備計画を策定し、体験・交流内容等のコンテンツや整備施設に関する基本計画を検討

平城宮跡南側

OR2年度に新規事業化及びR2年12月に基本計画を策定し、R4年度末の整備計画策定に向け、整備方針や導入機能について検討

〈平城宮跡歴史公園の整備の状況〉



平城宮跡南側地区 大極門(南門) 令和4年3月完成 東楼 朱雀大路東側地区



朱雀門ひろば

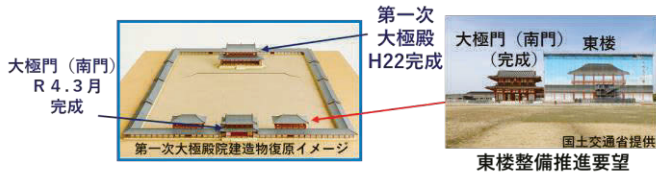


第一次大極殿院大極門(南門)

もっと良くするために

第一次大極殿院の復原は、奈良時代に今に感じる空間の創出を目指します。

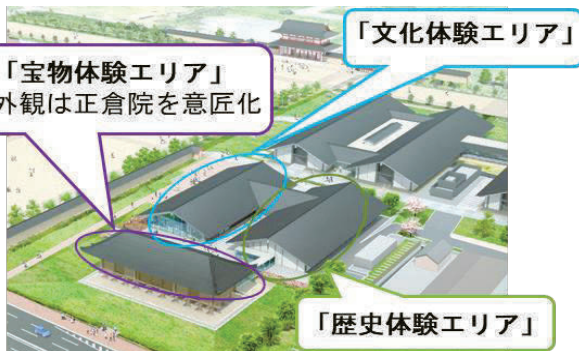
○「南門」に続き「東楼」の整備促進を国に要望



東楼整備推進要望

東側の「歴史体験学習館」は令和8年度の完成を目指します。

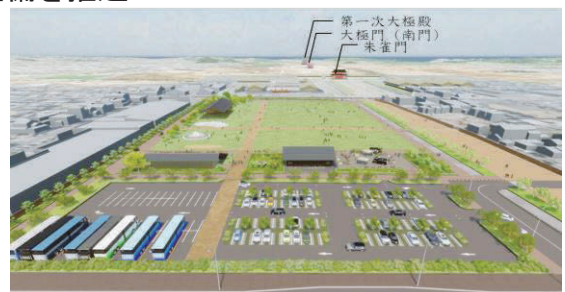
○迫力ある映像や新技術を活用した奈良時代の歴史をリアルに体験できる「歴史体験学習館」を整備



歴史体験学習館のイメージ

南側は令和7年度の完成を目指します。

○平城京のスケールを実感し往時の姿をイメージできる歴史空間や人々が憩いつろげる空間を創出するため、オープンスペースを確保し、屋根付き広場、展望デッキ、便益施設、遊具等の整備を推進



平城宮跡南側の整備イメージ

一層のにぎわいと誘客促進に向けて、魅力ある催しを実施します。

○季節ごとの魅力あるイベント(天平祭春・夏・秋)に加え、年間を通した賑わいを創出



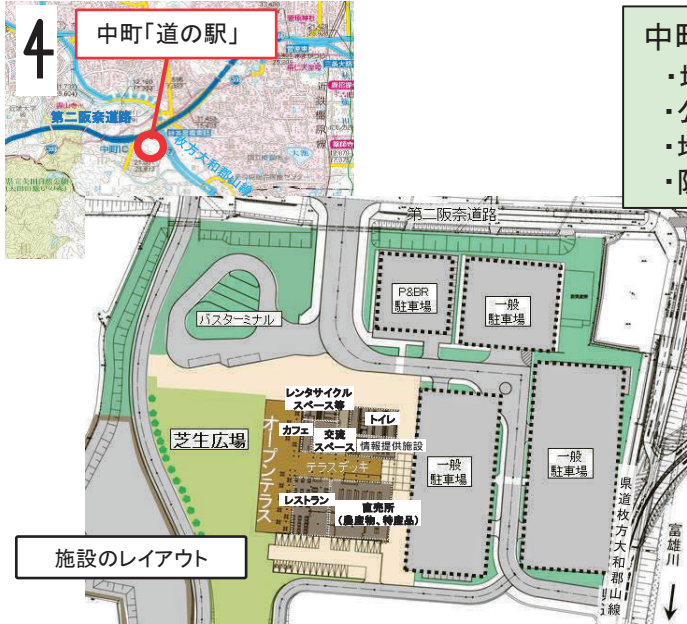
天平祭・夏

令和5年度予算案 526百万円 [債務負担行為 469百万円]

(16) 中町「道の駅」の整備

ここまで良くなってきました

令和4年10月に管理運営を行う**指定管理者を決定**しました。造成工事が完了し、**建築工事**を進めています。



中町「道の駅」の主な機能

- ・地域振興機能
- ・公共交通の結節点機能
- ・地域観光のゲートウェイ機能
- ・防災機能（R3年6月「**防災道の駅**」に選定）



新築工事 起工式（R4年11月6日）

もっと良くするために

令和5年度末のオープンに向けて整備を進めます。

- 建築工事を進めるとともに、駐車場や芝生広場等の工事を推進
- 地域や指定管理者と連携して、県産食材の活用や地域の賑わいづくりのイベント、観光情報の発信等について具体化
- 空港バスや路線バス等のバスターミナルへの乗り入れ実現に向け、交通事業者と協議
- 災害時に備え、非常用発電機、貯水タンク、防災倉庫等を整備



駐車場から西側の眺望を望む(イメージ)



県産木材を活用した内装(イメージ)



オープンテラス・芝生広場(イメージ)



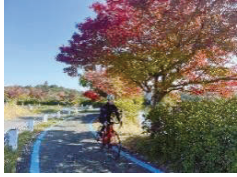
防災倉庫(イメージ)

令和5年度予算案 2,300百万円

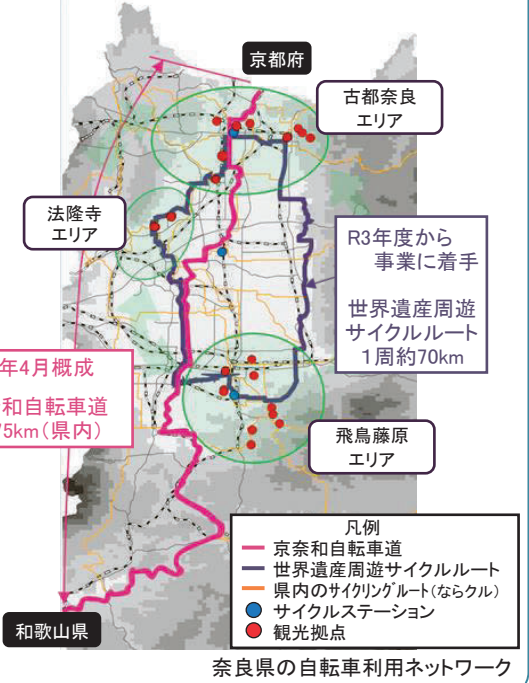
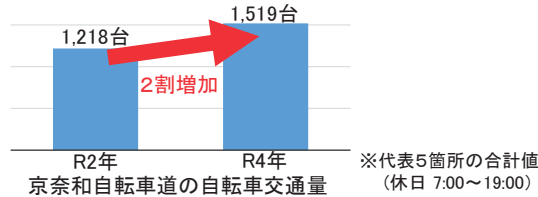
(17) 自転車の周遊環境整備と安全利用

ここまで良くなりました

令和3年4月に京奈和自転車道(京都嵐山～奈良～和歌山港 総延長約180km)がつながり、利用者が2割増加しました。



奈良市内



世界遺産周遊サイクルルートの工事に着手しました。

- R4年度から、路面標示等の工事を実施



整備箇所(斑鳩町)

自転車の安全で適正な利用促進等を推進しました。

- 駅頭啓発でのチラシ配布、SNSによる呼びかけ、YouTube配信等様々な啓発活動を実施
- 「自転車の安全利用促進フォーラム2021」を開催、自転車の安全利用等をテーマとしたパネルディスカッション等を実施

もっと良くするために

自転車利用ネットワークの構築を図ります。

- 世界遺産周遊サイクルルートのうち、古都奈良エリア、法隆寺エリア、飛鳥藤原エリアで案内誘導サイン等の工事を推進



整備箇所イメージ(橿原市)

- HPやSNSを活用し、サイクルルートの魅力を発信



R4年秋「サイクルフォトシェアin奈良」イベント紹介HP

「サイクルフォトシェアin奈良」

- ・Instagramを活用し、自転車ならではの奈良の魅力を投稿・共有するイベント
- ・R3年の秋、R4年の春と秋 これまでに計3回イベントを実施
- ・R5年度も実施予定

引き続き、「奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」のもと自転車を安心して利用できる奈良県を目指します。

- 保険加入義務やヘルメット着用の必要性等についてイベント実施等により広報啓発を行うとともに、交通安全教育を実施



令和5年度予算案 259百万円

奈良県自転車条例啓発チラシ

5. 魅力向上・発信

(18) 食の振興

ここまで良くなってきました

食の振興の高度化に向けて取り組んでいます。

- ガストロノミーツーリズムの推進
UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムが奈良県で国内初開催
- ミシュランガイド奈良2022特別版の活用



ガストロノミーツーリズム世界フォーラム ミシュランガイド奈良2022掲載店発表会

県産加工品について、奈良まほろば館でテストマーケティングを行っています。

- アンテナショップでの県産食材・農産加工品の販売と情報発信
- 奈良県初のワイナリー設置を支援
県産ワインが完成し販売を開始

各地で食の振興に取り組んでいます。

- コンベンションセンターでの食イベントによる賑わいづくり
- 奈良フードフェスティバルの開催
- NAFIC附属セミナーハウス、なら歴史芸術文化村で食に関するセミナーを開催



花と楽しむ奈良の美味しい食フェスタ



「はじまりの奈良の食文化」セミナー



奈良まほろば館で厳選商品を販売



3種類の県産ワイン

もっと良くするために

奈良の食・食材のブランド力をさらに強化します。

- 奈良まほろば館等でのプロモーションや県産食材を味わえる飲食店の紹介

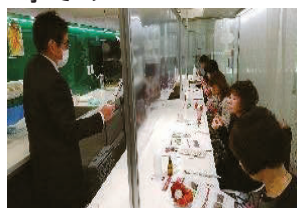


県産食材を味わえるレストラン「TOKI」
(ミシュラン一つ星)



協定直売所「地の味 土の香」
のブランド化

- 奈良県プレミアムセレクト品のアンテナショップ等でのPR



東京老舗果物専門店でのPR



奈良まほろば館の
プレミアム古都華かき氷

奈良の食を楽しむ機会の更なる拡大を進めます。

- NAFIC附属セミナーハウス、なら歴史芸術文化村等での食を楽しむ機会の創出



奈良フードフェスティバル



県産食材で料理教室

- 奈良の食情報を発信



オーベルジュガイドの発行

[具体的な取組]

- ・宿泊予約サイト等と連携した、本県の食の魅力の発信と食を活用した周遊・滞在コンテンツの充実
- ・ローカルガストロノミーの情報発信
- ・奥大和ガストロノミーツーリズムの実施
- ・海外観光客等に向けた食の魅力発信

令和5年度予算案 83百万円

(19) 海外・東京プロモーションの展開

ここまで良くなってきました

海外に対し、今後のインバウンド再開を見据え、SNSや海外旅行博への出展等により、本県の魅力を継続して積極的に発信しています。

○海外の個人観光客やメディア等に対する情報発信



SNS情報発信 (Instagram等) 現地イベントでの情報発信



首都圏における県の魅力の認知度及びブランド力の向上を図るため、「奈良まほろば館」を令和3年8月に移転リニューアルし、観光・食・特産品等の情報発信や、新商品の発掘等に取り組んでいます。

○首都圏等からの誘客を図るため、市町村や交通事業者等と連携したプロモーション(「壬申の乱1350年」をテーマとした周遊キャンペーン等)を展開



周遊キャンペーン



まほろばチャレンジリーグ

奈良まほろば館



2階レストランTOKI
R4年11月ミシュラン一つ星獲得

もっと良くするために

海外に対して、インバウンドの本格的な再開と2025年大阪・関西万博の開催や2037年予定のリニア開通を見据え、積極的に海外プロモーションを展開するとともに、JNTO等政府機関等と連携し、情報発信を強力に推進します。

○海外での積極的な情報発信



海外大規模旅行博等への出展



旅行商談会でのPR

国内に対して、市町村・交通事業者等と連携して歴史的催事の活用やガストロノミーツーリズムの積極的な展開により、万博以降も見据えた誘客促進に取り組めます。

○ガストロノミー等を活用した観光誘客



食と観光を掛け合わせた新しいツーリズムの発信



奥大和地域への誘客・プロモーション



イベントでの文化体験等の実施



海外向けHPの充実

首都圏では、「奈良まほろば館」を活用し、食や県産品等の魅力を活かしながら、県の認知度及びブランド力を向上することにより誘客促進を図ります。

奈良まほろば館での取組
・TOKIやCafe&Barを活用した食のPR
・まほろばチャレンジリーグ
・市町村や社寺等による講演会などにより本県の多様な魅力を発信



奈良まほろば館での食のPRイベント

令和5年度予算案 272百万円
令和4年度2月補正予算案 80百万円